ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成23年 No.238 10月号

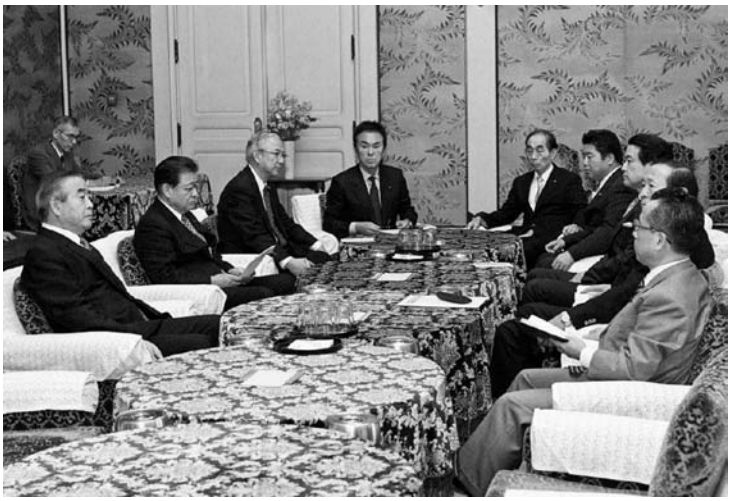
京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

定見なき寄せ集めの民主党
迷走続きの野田内閣

欲求不満が続く日本の政治

野田政権が発足して1ヶ月半以上が経過した。依然として高い支持率を維持している。しかし、臨時国会で、衆参予算委員会での首相はじめ各閣僚の答弁を聞く限り、誠に頼りない、不安定な内閣と言わざるを得ない。自民党に対抗し、ただ政権を獲得したいだけに寄せ集まった議員で構成される民主党。経済不況、加速する高齢化、漠然とした将来への不安、進まぬ東日本大震災の復興、閉塞感がただよう今日の日本。この日本をどのような方向に持っていくのか、明確なビジョンもないし、使命も責任感も感じられない。自民党の反対ばかり言って、政権を担う準備もないまま、政権の座についてしまった。民主党の責任は大きい。そんな民主党に負けた自民党も情けない。未熟な党に政権を与えた国民にも大きな責任がある。この2年間で、国民は後悔し、反省もし、いかに政治が大事であるかを学んだ。今、自民党は是が非でも解散に追い込み、政権奪還を目指している。だが、野田内閣は簡単に解散総選挙をしない様子。日本の政治はしばらく欲求不満が続きそうだ。


第3次補正予算の財源をめぐる与野党協議

恒心

★東北地方に大地震が起きてから、7ヶ月が経つ。1次、2次の補正予算を組んだが、焼け石に水で、道路、鉄道は寸断されたまま、莫大な量のガレキの処分はまだ見通しも立っていない。第3次補正が先日閣議決定されたが、財源問題で野党の理解を得るのはそう簡単ではない★第1次補正の編成では、4月から9月までの6ヶ月間、議員歳費を毎月50万円減給し約22億円の財源をねん出した。国会は9月30日に閉会となり、国会議員歳費減額特例法案は終了となり、以前の額に戻った。★民主党の輿石幹事長は再延長の可能性を問われ、「議員歳費の削減で多くの議員が秘書を解雇するなどして、財政事情が大変厳しい」と、延長はないと示唆した。民主党の議員でも台所は火の車である。野党の自民党はもっと苦しい。★私の場合、京都事務所の職員に辞めてもらい、経費を削減した。今、京都事務所では6人でしていた仕事を3人でこなしている。労働過重であるが、事情を理解し、良く頑張ってくれている。★秘書の仕事を、軽減する為に、京都市内は、出来るだけ1人で動くことを心がけている。自宅から嵐電、市バスの駅までは徒歩2～3分、JR花園駅まではゆっくりと15分。丹波、丹後、南部もJRを利用する。公共交通機関を利用すると、世の中が良く見えてくる。車内で知り合いにも会える。★それ以上に家から事務所、行事会場まで歩くので、健康にとって大変効果的。市会議員時代は自家用車を運転し一人で行動していた。国会議員になったからと言って秘書任せでは呆けてしまう。厳しい財政事情も考えようでは、いいことである。

参議院自民党特別総会
中曽根人事案を承認せず

参議院自民党議員会の会長は所属議員の投票によって公選され、任期3年である。幹事長、政策審議会長、国会対策委員長の3役は会長が推薦し、特別総会で承認を得ることになっている。任期は1年で再任を妨げないとなっている。昨年参議院選挙後に、会長選挙が行われ、投票の結果、中曽根弘文氏（群馬選挙区）、谷川秀善氏（大阪選挙区）が同数の40票を獲得、くじ引きによって中曽根氏が選ばれた。それだけに中曽根会長は敗北した谷川陣営に十分な配慮をする必要があった。しかし、中曽根会長は幹事長に衆議院から参議院に鞍替えしたばかりの小坂憲次氏（比例区）を指名した。その辺りから議員団内部に不満、不平が溜まっていた。役員任期が切れる直前から、小坂幹事長の再任は認められないとする動きが活発になり、溝手顕正氏（広島選挙区）を担ぐ動きが活発になってきた。9月30日に開催された特別総会で、中曽根氏は小坂氏を含む3役の再任を提案したが、多くの異論が出され、中曽根氏提案の人事案件を投票で賛否を問うという異例の事態となった。投票の結果、79票の内、反対42、賛成31、無効6となった。人事案は否決されて、中曽根氏の面目は丸つぶれとなってしまった。

執行部人事やっと決着
前途険しい中曽根丸

10月6日、参議院自民党特別総会が開かれ、中曽根会長から、溝手顕正幹事長、岩城光英政策審議会長（福島選挙区）、脇雅史国会対策委員長（比例区）とする新しい人事案が提出され、前回の総会とは打って変わって、満場一致で了承された。中曽根会長が当初から議員団の空気を読み、周囲の人の意見に耳を傾けていれば、こんな無様なことにはならなかったのではないか。人事案が承認された後で、中曽根会長は「新しい気持ちで、打倒民主党に向かって頑張ってゆきたい」と挨拶したが、この間の人事を巡る騒動で、中曽根会長の指導力は著しく低下したことは明らかである。

溝手顕正
幹事長

岩城光英
政策審議会長

脇雅史
国会対策委員長

板ばさみの沖縄県教育委員会
八重山地区の公民教科書採択問題

義務教育の小・中学校で使う教科書は、公立学校の場合、原則として4年ごとに市町村や都道府県の教育委員会が決める。都道府県教育委員会は地域性を考慮しながら市や郡を単位とした採択地区を設定しており、5月現在で全国に582地区がある。採択地区内の市町村は教育委員会関係者らによる採択地区協議会を作り、教員らの調査などを参考にして、共同で同じ教科書を採択する。2012年度から使用される教科書の採択の締め切りは、8月31日である。4年ごとに話題になるのが、中学校の公民教科書の採択である。公民教科書は自虐史観に満ち溢れ、教科書としてふさわしくないと「新しい歴史教科書をつくる会・自由社」や「教科書改善の会・育鵬社」の人達は主張し、扶桑社や育鵬社の教科書を採択するよう各方面に活発な運動を展開している。来年度から両社の教科書がどの程度採択されるのか、まだ集計がまとまっていないようである。ところで沖縄県の八重山採択地区協議会（石垣市、与那国町、竹富町）では、締切期限が終わっているのに、公民教科書に関して、どの会社の教科書を使用するか決まっていない。8月23日に開かれた地区採択協議会では育鵬社版を採択することに決まったが、その決定が竹富町の反対に遭った。9月8日、ルールを変更し、石垣市、与那国町、竹富町の教育委員13人の全員協議会で、先の決定を覆し、東京書籍版に変更してしまった。これには石垣市、与那国町が反発、いまだにどの社版を使用するのか決まっていない異常な状態が続いている。文部科学省は沖縄県教育委員会を通じて、関係市町教育委員会が八重山採択地区協議会の規約に従って決められた教科書を採択するように指導を行っているが、迫力が感じられないし、県教委は全員協議会の判断は正しいという見解である。参議院予算委員会の答弁、記者会見でも、この問題に関して、中川正春文部科学大臣も今一つ腰が定まらず、ふらふらしている感じがする。いずれにせよ、当初のルールによって決定されたことが、ある町の反対でご破算になるようならば、何のためのルールか分からない。子どもに示しもつけられない。沖縄県が大変難しい政治状況を抱えていることは理解できる。しかも地元の新聞、沖縄タイムス、琉球新報は反権力、反政府の立場であるので、沖縄からルールを守れという声が挙がりにくい。しかし、沖縄は日本国である。日本は国民の代表が決めた法に基づいて行政が行われる法治国家である。沖縄といえども法に定められた規則に従い、八重山採択地区協議会が決めた意思を最優先に尊重しなければならない。

天皇のお体を考え、臨時代行を

9月12日、第178国会の開会式が行われた。国会召集は天皇の国事行為であり、天皇陛下が臨席され、おことばを賜る。衆参の委員会の委員長は国会正面ロビーで天皇陛下をお迎えするのが通例となっている。天皇陛下は国会議事堂にお着きになると各委員長に会釈をされて、正面階段を登られて、御休所にお入りになる。ところが今回、階段を利用されずエレベーターを使って御休所にお入りになった。国民にはなかなか分からないが、陛下の日常は早朝から夜遅くまで、公務が多く正直大変な激務である。おそらく今回陛下の年齢、体調を周囲の者が気遣いエレベーターの利用となったのではないか。天皇陛下は昭和8年12月23日のお生まれだから、次の誕生日で満78才を迎えられる。一般社会では現役を退き、悠々自適の生活であるが天皇は生涯天皇であり、激務の連続である。しかも前立腺がんの治療もお受けになっているし、骨粗症の症状も見られるという。体調は決して万全ではない。昭和天皇がご不例のときは、「国事行為の臨時代行に関する法律」に基づき、昭和63年9月22日から64年1月7日の天皇ご崩御まで皇太子殿下が天皇の代行を務められた。今後、今上陛下のお体のご様子を考え、先の法律を活用して、天皇陛下に休養をとっていただくことなどを考えてみる必要があるのではないか。

関西に首都代替機能を 京都こそ還幸を求めるべき

東日本大震災を契機に国の危機管理として首都機能の支援体制を構築する必要性が叫ばれている。関西広域連合では首都代替機能を関西にと要望している。ただ、政治、経済機能だけを持ってくるだけなら、東京のコピーのような町になってしまう。関西は日本の文化の中心である。関西広域連合では、要望の中で皇室の件に触れているが、当然のことである。先日、経済関係者との会合で、皇太子殿下に今上天皇の代行が出来ないのかということが話題になった。そして天皇には、明治奠都まで「皇室のあった京都」に何カ月間、滞在してもらったらいいのではないかという意見が出た。9月30日、京都府議会で自民党の二ノ湯真士議員は、「皇室と共に歩んできたのが日本人の歴史、文化である。日本国の象徴である天皇の還幸(天皇、皇族に京都に帰っていただく)を求めていくべきではないか」と山田知事に質問した。知事は「東京に国会をはじめ、首都機能があることを考えれば、本格的な還幸は難しいかもしれませんが、他の国では、王室がある地域に一定期間過ごされます。日本の安心、安全を確保すべき中で、皇室の安心、安全についてわれわれもお役に立ちたい」と答弁した。歴史都市、文化都市を掲げる京都である。困難ではあるが、繰り返し、声を挙げる必要がある。

田中セツ子 京都結婚塾開設

私は、今年の4月までに5期20年の京都市会議員を務めさせていただいておりました。実は5年前から政界の引退を決めていました。一般的に勇退議員は少し休息をとる方が多いのですが、私は今までご支持をいただいた皆様や市民の方々に何か恩返しを出来ないかと考え、事務所を九条御前から八条口に移転しました。

市役所職員時代より1人でも2人でも幸せになってほしいと願ってましたし、いろんな方の仲人や縁談にも携わってきました。昨今の少子化に少しでも力になれないかと、人生の再スタートで事業を開始しました。ボランティア性が高い活動ですが、今までの経験と人脈を活かし少しでもこの京都の活性化に貢献したいと思います。

近頃は生き方も多様化しています。結婚もしない方がだんだんと増えてまいりました。ひとりでいることは誰にも干渉されずに、自分の思うままに生きることは気楽です。しかし結婚することで1人で解決できないことが2人ですと解決できたりします。2人で力を合をあわせる方法によっては、その力は2倍にも3倍にもなるのではないでしょうか。反面、相手のあることで考え方もいろいろで相手の立場で言葉づかいも気をつけたりしなければなりません。子供が生まれたときもお互いが協力しなければ生活はむずかしくなりますが、また、大きな喜びや楽しさもあります。

やはり結婚はしてみるものではないでしょうか。ぜひ!

(☎075―681―7575)

田中セツ子京都結婚塾 事業概要

ご利用の流れ

①**ご入会**

②**プロフィールシート作成**
家族、勤務先、収入やお相手の希望を確認。

③**活動開始**
ご希望にそってお相手を紹介。

④**お見合い**

⑤**ご交際開始**

⑥**ご成婚**

特徴

①**講座・セミナー**
毎月メイクやファッション・マナー・資産形成等の多種多様な講座が受講できます。
(会員無料・ご両親や主婦の方も参加可。)

②**田中セツ子本人が本気で探します。**
今までの人脈と交流を活かし、ご希望にそって、場合によっては会員でない方もピンポイントでご紹介いたします。

京北地域の市外、市内局番が変更
6年越しの住民の要望が実る

北桑田郡京北町が京都市と編入合併したのは平成17年4月1日（２００５年）で、丸6年以上が経過した。合併時の京北町民の願いは栗尾トンネルの貫通、そして国道162号の整備であったが、悲願のトンネル工事は平成27年完成を目指して、順調に工事が進められている。合併はしたが、電話の市外、市内局番は相変わらずで、一日も早く京都市と同じようにして欲しいというのが、町民の要望であった。ＮＴＴ西日本では、平成23年12月1日から、電話番号の変更を実施することになった。京北地域（京北室谷町除く）の対象戸数は約3000回線である。今後、名刺、年賀状、各種印刷物、看板等には電話番号にくれぐれも注意して下さい。

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　１万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

「日本真生塾」 第14回・第15回例会のお知らせ

平成23年10月24日(月)　18時～21時
平成23年11月28日(月)　18時～21時

場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**（京都駅八条口前アバンティ9F）

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：近藤）

右京区西院坤町２ハウスドゥ四条ビル6F
TEL：050−7544−4018　メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp

内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。

日本真生塾　塾長　**岡本幸治**

自民党「政経文化懇談会」のお知らせ

自民党京都府支部連合会主催による「政経文化懇談会」を開催させて頂きます。

東日本大震災の復興はもとより、党の再生・信頼回復に全力で取り組み、政権奪還を目指してまいる所存です。

時節がら、ご無理を申し上げて誠に恐縮でございますが、皆様方のご理解の下、多くの方々にご協力、ご出席を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

◆日時　平成23年11月27日㊐
- 午後１時から　講演会（講師：政治評論家　金　美齢 先生）
- 午後２時30分から　懇親パーティー

◆場所　京都市勧業館みやこめっせ（京都市左京区岡崎）
◆会費　１枚　３万円

☆お問い合わせ、お申し込みは二ノ湯さとし事務所まで

TEL075-315-2228　FAX075-315-2310

身辺雑記

一、15才の知的障害のある我が娘に売春を強要させた母親が逮捕された。相手は母親と不倫関係にある72才の男。孫のような女の子を説教し、改悛させて返すのが当たり前。馬鹿な母親に、下らない男。本当に情けない話である。

一、木造船で北朝鮮から脱出してきた子供3人を含む9人が石川県沖で救出された。脱北者は北朝鮮では恵まれた階層らしいが、将来の夢がなくて北朝鮮に失望したとのこと。厳しい監視の目をかいくぐってよくぞ脱出したものだ。

一、チェンジ、チェンジと叫んでアメリカ政治史上、初の黒人大統領に就任したオバマ大統領。経済の回復もならず、失業率も高く、支持率は低迷したまま。政権交代を掲げて政権を獲得した民主党とどこか似ている。

一、国も地方自治体も厳しい財政状況が続くが、何もしないと言う訳にいかない。自治体が施設を建設するとき、民間資金を導入するためＰＦＩ手法を使う。そのため、資金を提供する会社の名前を付ける。地名、固有名詞は大事な文化である。

一、小沢一郎氏の裁判が始まった、本人は無罪を主張し、検察を批判し、裁判の打ち切りを求めた。小沢氏はここ十数年政界に君臨してきたが、この政治家は何をしたいのかさっぱり分からない。裁判の結果に拘らず、政界から引退すべきだ。

一、運転免許証の更新に行った。優良運転手なので、平成28年10月13日まで5年間有効。次回の更新は72才で、高齢者講習を受けなければならない。高齢者なんて、他人ごとと思っていたのに、そんな年になってしまった。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000−4−62360
口座名：**みんなで政治を考える会**

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

二ノ湯しんじ後援会
歩こう会のご案内

★歴史探訪と健康づくり★

日　　時：10月30日(日)　＊小雨決行
集合時刻：午前９時（時間厳守）
集合場所：京都産業会館前（四条烏丸西入南側）

☆今回は、室町、三条通り、そして堀川せせらぎから府庁旧本館を巡ります。
詳細は、二ノ湯しんじ後援会発行の案内をご覧ください。

お問合せ先
京都府議会議員 二ノ湯しんじ事務所
〒616-8167 京都市右京区太秦多藪町44-1
TEL 075-862-1355　FAX 075-862-1350